

今期の活動テーマと具体的な取組について（案）

1 活動テーマ

「子どもたちが直面している SNS の現状について」

2 活動の具体的な取組

(1) 中学生・高校生世代でスマホを所持している子へのヒアリング

	(案1)	(案2)	(案3)
対象	放課後カフェ等 利用者	特化型児童館・児童センター 利用者	中学校在学学生
方法	カフェ等開催時に ヒアリング	児童館・児童センター視察時の 来館者にヒアリング	対象者は学校を通じて選 出してもらう。 学校に出向く 又は、公 共施設に会場を用意して ヒアリング ※

※対象校（全校 or 一部（一部の場合はその選択方法））・人数・対象生徒の抽出方法
・実施場所（学校、その他の公共施設）等について更に検討が必要

内容：SNS の利用状況、トラブル事例等について

(2) 保護者に対するアンケート

対象：PTA 運営委員会を中心に、問題意識のある方々

方法：P 保連を通じて各学校の PTA 運営委員会に協力を依頼。集約してもらう。

内容：子どもをとりまく SNS の現状について感じていること

(3) 教育委員会・学校での取組の現状を聞く

対象：教育委員会（指導課）指導主事 又は 学校長

方法：専門部会へ出席を依頼し、話をしてもらう。

内容：SNS に関する学校の取組について、ここ数年の変遷と現状

（案1）指導主事に、教育委員会の考えを話してもらう。

（案2）学校長（代表の方）に SNS に対する各校の取組や意見を集約していただいで話してもらう。

(4) 特化型児童館・児童センターの視察及び施設職員へのヒアリング

対象：特化型児童館・児童センター 2 館（ひばりが丘児童センター、下保谷児童館）

方法：施設へ出向いて、現地視察及びヒアリングを行なう。

内容：児童館・児童センターとして SNS をめぐる問題について感じていること

(5) スマホ事業者等の専門事業者による出前講座 又は 研修会

受講者：青少年問題協議会委員

方法：スマホ等通信事業者 又は SNS アプリ提供事業者による出前講座を利用する。

内容：スマホ・SNS の現状、トラブル事例、対策等を学ぶ。